

I 令和3年度事業報告

1 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ① 幼児教育等と森林インストラクターのマッチングシステムに関するフォーラムの開催
(助成者) (公社) 国土緑化推進機構
(期 間) 令和2年7月～令和3年6月
(概 要) 森のようちえん活動を推進していくためには、自然体験活動の指導者の活用が有効であることから、幼児教育等と森林インストラクターの連携に関するフォーラムを開催し、報告書及び森林インストラクターと幼児教育の連携のための手引き書を作成し会員他関係者に配布した。
- ② 森林空間を活用した健康活動と森林のアクティビティの融合による森林での活動習慣の定着化に関する調査
(助成者) (公社) 国土緑化推進機構
(期 間) 令和3年7月～令和4年6月
(概 要) 森林浴を始めとする森林空間を活用した健康活動の定着化を図るため、利用者の興味や関心に沿った森林ガイド等と健康づくりを融合した森林利用の手法の事例を調査するとともに、モニターツアーを実施しプログラムを評価し報告書を作成する。
- ③ 森林を活用した障害者・高齢者の保健休養及びレクリエーションの今後の展開方向に関する実証的調査事業
(助成者) (一財) 日本森林林業振興会
(期 間) 令和3年9月～令和4年6月
(概 要) 障害者や身体に支障のある高齢者の森林を活用した保健休養及び森林レクリエーションの普及を図り、障害等の有無にかかわらず、すべての人が森林を活用し、その保健休養効果やスポーツ、レクリエーションを享受できるように、効果的な利用プログラムを開発するとともに、その活動を支援する人材育成及び体制づくりを検討する。

(2) 調査研究活動の成果の普及

「自然の中での幼児教育のすすめー森林インストラクターと幼児教育の連携の手引きー」及び幼児教育等と森林インストラクターの連携に関するフォーラム報告書「自然の中での幼児教育を進めるために森林インストラクターに期待されるものは何かー幼児教育と森林インストラクターを結び繋げていくためにはー」を会員及び林野庁、森林管理局等の関係機関に配布した。

既刊の「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「林業・山村から学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」、「絵で見るもりのマナーと安全」等の普及に努めた。

また、「森林インストラクター養成講習テキスト 改訂7版」を発行し、一般配布するとともに、森林体験活動に必要な資材等の助成を行った。

2 普及啓発事業

(1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ都道府県、森林管理局・署、関係団体等に配布（No.407(2021年4月)～No.418(2022年3月))、各号810～870部）。

(機関誌（情報誌）の主な掲載テーマ)

① 森林レクリエーション活動に関する情報

- 滝のポテンシャルを輝かせる「滝ガイド」(No.410)
- 世界遺産の森と木フォトコンテスト入賞作品の紹介 (No.408)
- 公園緑地とユニバーサルデザイン (No.411)
- マウンテンバイクと森林利用ー自転車協会の取組と MTB フィールドの最新情報ー (No.413)
- 詳しすぎる高尾山ガイドブック (1), (2) (No.414, 417)
- 令和3年度「山の日」記念行事 清秋の筑波山と森林アメニティー筑波山散策と講演ーの開催 (No.414)
- 〈リレー連載〉森林アメニティの新たな動向多様化する森林アクティビティの最前線 (1) (No.418)

- ② 森林環境教育・健康等に関する情報
 - 「森のようちえん」の実践事例（4）－広島幼稚園（北海道北広島市）－（No.407）
 - 〈連載〉森林と健康－森林浴、森林療法のいま－第24回、第25回、第26回（No.409, 410, 415）
 - “バリアフリー”・“ユニバーサルデザイン”と森林（2）（No.408）
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
 - 第33回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」受賞団体の活動（No.412, 413）
- ④ 森林・林業に関する行政等の情報
 - 我が国5番目の世界自然遺産（奄美大島、徳之島、沖縄島及び西表島）（No.412）
 - 日本美しの森お薦め国有林～いちおしの森&キャンプ BOOK～を作成（No.412）
 - 令和4年度林野庁予算（概算決定）から（No.417）
- ⑤ 当協会に関する情報
 - 第70回理事会の開催（No.407）
 - 令和3年度森林インストラクター「資格試験」及び「養成講習」のご案内（No.407, 410）
 - 第33回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」受賞団体の発表・プロフィール（No.408, 409, 411）
 - 第37回通常総会の開催（No.410）
 - 令和3年度森林インストラクター資格試験合格者の発表（No.416）
 - 国有林野事業業務研究発表会において協会会長賞を授与（No.403）
 - 第34回森林レクリエーション全国研修会（報告）（No.418）
 - 令和4年度森林インストラクター「資格試験」及び「養成講習」の日程等のお知らせ（No.418）
- ⑥ その他の情報
 - スギの故郷を尋ねて（3）－日本海側の天然スギ（ウラスギ）－（No.408）
 - 樹木名の話（2），（3），（4），（5）（No.407, 409, 411, 417）

(2) 会員への情報提供等

森林のレクリエーション利用等に関する各種情報（関連情報）の収集を行うとともに、会員のメーリングリストにより会員への情報提供を適宜行

った。

また、協会関連ホームページ（URL：<http://www.shinrinreku.jp>）の適時の更新・充実に努めた。

(3) 森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクールの実施（旧森林レクリエーション地域美化活動コンクール）

第33回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」の審査を実施し、審査の結果、農林水産大臣賞1団体、林野庁長官賞2団体、当協会会長賞5団体、及び奨励賞5団体を決定した。例年通常総会において実施している表彰式は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止し、賞状等の送付により表彰式に替えた。

第34回森林レクリエーション地域「美しの森づくり活動コンクール」として、都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション活動が行われている地域において、景観の保全・向上のための森林整備、利用者の利便性、安全性の向上のための施設整備、森林の有効活用によるレクリエーション活動、美化のための清掃・ゴミ拾い及び動植物の保護のための活動等を積極的に行っている学校、地域グループ、職場グループなどのボランティア団体等の推薦公募（締め切りは令和4年2月15日）を実施した。

なお、審査委員会は令和4年4月に実施した。審査の結果、次の受賞団体が決定した。

- 農林水産大臣賞（1点）
万里の松原に親しむ会（山形県酒田市）
- 林野庁長官賞（2点）
京都森林インストラクター会（京都府京都市）
特定非営利活動法人奥雲仙の自然を守る会（長崎県雲仙市）
- 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞（5点）
仁頃山愛好会（北海道北見市）
山形県県民の森 森の案内人会（山形県山辺町）
ふれあいの森伊勢崎（栃木県真岡市）
綿向山を愛する会（滋賀県日野町）
入野松原保全推進協議会（高知県黒潮町）
- 奨励賞（6点）
高瀬みどりの少年団（大分県日田市）（特別奨励賞）
別海町グリーンツーリズムネットワーク（北海道別海町）

三陸森の会（青森県青森市）
せんだい・市民の森を創る会（宮城県仙台市）
シオジ森の学校（山梨県大月市）
多米の里山づくりを楽しむ会（愛知県豊橋市）

(4) 第34回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 天城山・昭和の森と伊豆文学を巡る

開催時期 令和3年12月9日（木）～10日（金）

開催場所 静岡県伊豆市

参加人員 26人

研修内容 昭和の森・天城山自然休養林の昭和の森会館において、「森の情報館」、「伊豆近代文学博物館」、「伊豆半島ジオパーク天城ビクターセンター」を見学後、平野啓子氏による天城ゆかりの井上靖作の「猟銃」の朗読会を鑑賞。浄蓮の滝、ワサビ田ほか市内の森林レクリエーション関連施設の視察等。

(5) 「山の日」記念事業の実施

令和3年10月15日（金）に「山の日」記念行事として、（一財）日本森林林業振興会及び（一社）日本森林インストラクター協会との共催により、「清秋の筑波山と森林アメニティ ～筑波山散策と講演～」と題し、茨城県の筑波山において、散策と国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所の高山範理上席研究員による「筑波山に親しむ機会を得て、森林アメニティに感謝する」と題する記念講演を実施した。山林見学及び記念講演には、公募による一般参加者、スタッフ等約70名が参加した。

(6) 森林環境教育ネットワーク事業

森林環境教育の推進に資するため、活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信。

① ウェブサイト「森で学ぼう!! 森林環境教育ネットワーク」の運営

URL：<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

② メールマガジンの配信（会員登録数：約800）

(7) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、

- ① 機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行(年4回、各回850～900部)
- ② 子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供
- ③ 実施団体や活動記録等の整理・取りまとめ
- ④ 資料の配布やインストラクターの紹介
- ⑤ アークヒルズ(東京 六本木)のクリスマスイベントで行われた木育ワークショップ「木とあそぼう森をかんがえよう」においてワークショップを開催した。

(8) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会(4回)や現地研修会(1回)の開催等の活動を実施予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策ため研究会の開催は1回の開催となった。

森林共生フォーラム

令和3年度(令和3年1月～令和3年12月)の活動状況

研究会等の開催	テーマ・講師等
第1回研究会 (3月19日)	デジタル変革(DX)と地方創生 ～つながる時代の森林・林業山村～ 講師 日本総合研究所創発戦略センター シニアスペシャリスト 井上 岳一 氏 ※当研究会は、会場への出席のほか、会員及び当協会会員へZOOMウェビナーで配信した。
現地研修会 (12月9日～10日)	開催場所 静岡県伊豆市 「天城山・昭和の森と伊豆文学を巡る」 (第34回森林レクリエーション全国研修会に合わせて開催)

(9) 他団体主催行事への後援等

- ① 第31回森と花の祭典・みどりの感謝祭(協賛)
令和3年5月8日(イイノホール)
新型コロナウイルス感染症対策のため中止。
- ② 農林水産省「消費者の部屋」特別展示「国有林野で学び、遊ぼう」(協力)
令和3年12月20日～12月24日(農林水産省)
- ③ 令和3年度国有林野事業業務研究発表会(協会会長賞の授与)
令和3年11月18日(林野庁)

- 一般社団法人全国森林レクリエーション協会会長賞
(森林ふれあい部門)

課題名「西表樹木かるた」を用いた森林環境教育の普及啓発について
受賞者 九州森林管理局西表森林生態系保全センター

専 門 官 後藤 直哉 氏
生態系管理指導官 永山 博美 氏

- ④ IZU TRAIL Journey2021 (後援)

令和3年12月11日～12日 (松崎町松崎～伊豆市修善寺温泉)

3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの資格試験を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活動ガイド」として登録。

令和3年度の実施状況は次のとおり。

- ① 養成講習の公募案内の開始 (令和3年1月29日)
- ② 養成講習受講者の募集開始 (令和3年4月1日)
- ③ 養成講習の実施

区 分	科 目	期 間	日 数	場 所	受講者数
講習Ⅰ (科目別講習)	森 林	5.8～5.9 7.9	3	新型コロナウイルス 感染症対策の観点か らオンラインで実施 (現地研修は除く)	38人
	野外活動等	5.22～5.24	3		37人
	林 業	6.12～6.13	2		39人
講習Ⅱ (全科目講習)	4 科 目	8.14～8.21	8	新型コロナウイルス 感染症対策の観点か らオンラインで実施	54人

(2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。

- 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

- ① 令和3年5月8日～7月9日（うち8日間）
オンラインで実施（実習は除く。） 受講者数 51人
- ② 令和3年8月14日～21日 受講者数 54人

4 森林インストラクター資格認定事業

令和3年度森林インストラクター資格試験の受験申込者数は284人（前年度271人）、合格者数は100人（同134人）で、平成3年度からの合格者数の累計は4,654人。合格者には、登録により「森林インストラクター」の称号を付与。

令和3年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（令和3年1月29日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（令和3年6月1日）
- ③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9月26日	札幌市	北海道経済センター	7人
	仙台市	ショーケー本館ビル	11人
	東京都	TKP 赤坂駅カンファレンスセンター	134人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	34人
	大阪市	ツイン2 1 MID タワー	52人
	高知市	高知城ホール	12人
	福岡市	電気ビル本館	21人

- ④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11月20～21日	東京都	林野会館	103人

- ⑤ 合格者の審査・決定（令和3年12月2日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（令和3年12月15日）
- ⑦ 令和3年度の登録更新の開始（令和3年11月）

5 支部総会等の開催

支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開催日等	開催地等	本部出席者
道 央	3年8月	書面決議	
旭 川	3年7月	書面決議	
帯 広	3年8月	書面決議	
北 見	3年11月	書面決議	
函 館	3年8月	書面決議	
青 森	3年12月	書面決議	
秋 田	3年11月	書面決議	
前 橋	3年8月	書面決議	
東 京	3年10月	書面決議	
長 野	3年6月	書面決議	
名古屋	3年8月	書面決議	
四 国	4年2月	書面決議	
九 州	3年9月	書面決議	

6 陳情・要請等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

7 会員組織の状況

令和3年度末における会員数

区 分		市 町 村	事 業 体	計
正 会 員	道 央 支 部	8	6	14
	旭 川 支 部	10	8	18
	北 見 支 部	9	1	10
	帯 広 支 部	6	2	8
	函 館 支 部	17	8	25
	青 森 支 部	19	9	28
	秋 田 支 部	11	8	19
	前 橋 支 部	12	23	35
	東 京 支 部	8	9	17
	長 野 支 部	4	5	9
	名 古 屋 支 部	5	1	6
	四 国 支 部	10	6	16
	九 州 支 部	9	2	11
	本 部	1	3	4
	小 計	128	92	220
賛 助 会 員		-	17	17
合 計		128	109	237